

お父さん、ボクが代わりに逝くから――

テロリストの父とトミノ好きの息子、
妻と母への不器用なラブレター

蒼穹 HAND BLUE Soukyu.

野川雄大 YAMATO

松嶋創 川村順一 鎌田美咲

監督：公野勉

プロデューサー：古川大志 長瀬力丸 玉川隆昭 / 撮影監督：江崎賢治 池山真勇 / 音楽：永山淳一 Takami /
脚本・美術：古川大志 録音：西園等 擬斗：高木明 / 監督補：高橋裕晃 / 助監督：吉崎富代美 三橋拓真 町尾孝弥 大宅孝稀 /
編集・整音・音響制作：矢可部薫 土川隆昭 / 音響・編集指導：坂井勇士 / ホイスーパーバイザー：喜多村太嗣
デジタル合成：渡辺慎幸 本多康平 / コンポジットスーパーアドバイザー：堀誠二 / 脚本監督：公野勉 /
協力：文京学院大学本郷キャンパス（武蔵野） / 英語翻訳：桑子順子 / 特別協力：株式会社サンライズ /
配給協力：株式会社劇団飛行船 映射ライヴエンタテインメント（田河清彦 豊陽子 高橋正佳） / 宣伝プロデューサー：赤野冷梨
宣伝アシスタントプロデューサー：柳藤菜乃 / 宣伝デザイン：徳永莉子 / 宣伝制作：坂口まどか / 宣伝映像プロデューサー：吉澤雄也 /
宣伝映像ディレクター：小林律貴 / 宣伝：櫻川知里 野呂龍之介 吾田泰斗 小山あす美 鈴木碧斗 蔵史夫 濱川啓彰 家永優衣
川根怜奈 白藤美沙 堀佳奈子 伊藤瑞希 山下桃子 大越葉 小川健太 菅野真尋 結城真弦 古越前華 歌津潤 中野陽和太
出崎愛夏 土田杏 高橋実倫 高橋葵 齊田零音 川路龍汰 相和恵利名 沖山聖菜 小川京介 大網桃果 伊東しおり 石村紅緒 /
デザインスーパーバイザー：足立芽生 / 配給スーパーバイザー：横澤恵子



最も先鋭的な話題俳優・野川雄大×
トライアルで伝統的な映画制作の公野研究室

テロリストは妻に、トミノアニメ好きな小学生は母に、それぞれが片思いをする父子。
長く離れていた父子がたった一日だけ、二人だけの旅に出る。
目的は——「オウサマ」の狙撃。
不器用で無垢な親子を襲う、容赦のない爆炎。淡く、しかし鮮烈な父子の絆の物語。

内山拓也監督『佐々木、イン、マイイン』（2020）、『ヴァニタス』（2016）で活躍、最も“今”である若手俳優とされる野川雄大と、東京国際映画祭招待作品『Blue Symphony ～ジャック・マイヨールの愛した海』（2009）など、数々の作品を世に送り出したコンテンツ機関である公野研究室が組んで、6年の歳月をかけて完成させた感動巨篇。父子の慕情を無惨にも破壊の炎が包み込む、衝撃のラスト。家族への思いと言葉が現代を照射する、涙と情愛の82分。

内山監督作品にとどまらず、天野千尋『うるう年の少女』（2016・サンフランシスコインディペンデント映画祭）でも評判を呼び、様々な舞台でも活躍する野川雄大が、多くの新人映画を制作してきた公野研究室の若手スタッフたちとコラボレーション、前衛的かつ伝統主義的な映像表現に挑んだ。新しいクリエイターの発掘と育成、活躍の場を提供する事を目的として公野研究室は発足し、これまでも多くの団体からの要請により、ドキュメンタリーなど多岐にわたる映画を制作してきたが本作は、公野研究室スタッフがはじめて自分たち自身の企画として制作した作品となる。野川のために脚本は書き下ろされ、徒弟制度の外となる新人スタッフたちによって現場は編成された。もともとは限定された場所での上映を企図していた為、劇中で語られる富野由悠季監督の名前を始めとして、国民的アニメーションシリーズ『機動戦士ガンダム』（1979）から引用したワードは脚本から修整されることなく撮影されたが、劇場公開に際して権利元から「教育を前提とした配慮」により特別な許諾を受け、ここに劇場公開が確定した。終結する日本映像界のニューカマーたちへ、メジャーメーカー群やベテランクリエイターたちが大きくバックアップ、切なくも儚い父子関係の描写により、観客の持つ日本観、社会観を揺すり、痺れさせるオフビートシネマ。静謐な画面からあふれ出る情熱と、狂おしいほどの少年の憧憬を銀幕に映し出す。

タイトル通り何もかもが《蒼い》。
無邪気とも言える蒼さゆえに想像もしなかった物語が展開し、
テーマ的にも危ういバランスを保ちながらまさかのラストを迎える。
私は映画の奇跡を見たかもしれない。

佐藤佐吉（映画監督・脚本家・俳優）

3/26（土）より1週間限定公開決定！ ※初日舞台挨拶ほか、イベントを予定
（※詳細は <https://kunoeiga.com/>、または劇場まで）

【料金】一般 1,500円 学生 1,300円 シニア 1,000円 前売 1,000円 【時間】連日 10:30～



@sokyu_2019



sokyu_themovie

新宿駅東南口階段下ル 甲州街道沿ドコモショップ左入ル

新宿 K's cinema

03 (3352) 2471 www.ks-cinema.com

各回入替・全席指定席

